

「元気いっぱい・笑顔いっぱい」



特別支援教育統括コーディネーター 加賀谷 勝

「地域資源マップ」例

能代山本地区
関係機関との連携(例)

【保健・福祉】

福祉課(子育て支援課 町民課)
北児童相談所 能代保健所
能代地域生活支援センター
県発達障害者支援センター

【その他】

児童クラブ
放課後等デイサービス事業所
子ども会 町内会
地域の活動の場

【医療】

県立医療療育センター
JCHO秋田病院
長信田の森診療クリニック

【子ども(園・学校)】



【家庭】

保護者 祖父母
兄弟姉妹

【教育】

各教育委員会 山本出張所
能代支援学校 総合教育センター
通級指導教室(南小・四小・湖小・二中)
能代市教育支援センターはまなす教室
あすなろ教室(三種町)
幼児通級指導教室(能代市)

【労働】

ハローワーク能代
能代山本障害者就業・生活支援センター
県障害者職業センター

- 各園・学校では、子どもや保護者の教育的ニーズに応えるために、地域の医療及び保健・福祉等の関係機関と連携して、「個別的教育支援計画」を作成・活用したり、ケース会議を開催したりしています。必要なときに、必要な人が集まり、必要な支援ができるように、連絡先や担当者名を入れた「地域資源マップ」があると便利です。生徒指導や進路指導ともリンクさせることで、より活用しやすくなります。
- 関係機関への連絡は、管理職や特別支援教育コーディネーターが担っています。校内にコーディネーターを複数配置している場合は、ケースに応じて誰がどこに連絡をするのか、役割分担をしましょう。人は問題をすぐに解決してくれる相手に信頼を寄せます。行動のスピードは、相手に強いメッセージになります。早さは誠意です！



とれたて直送便



相槌名人の「あいうえお」

あ:「あーなるほど」(納得)	「あっそうか」(発見)
い:「いいね!」(賛成・称賛)	「いいなあ」(憧れ)
う:「う〜んどうかな」(疑問)	「うんうん」(共感)
え:「えっ!」(驚き)	お:「お〜!」(感動)

授業中、子どもが大きく頷いて話を聞いたり、「あいうえお」の音が自然に起きたりしていますか。授業の充実度は、子どもの表情や言動に必ず表れます。